

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ALFAROMEО・FIAT/ABARTH大阪東	階数	地上3F
建設地	大阪府東大阪市川俣1丁目24、25、	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,592時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年11月1日
敷地面積	1,326㎡	作成者	西川 学
建築面積	787㎡	確認日	2018年11月2日
延床面積	2,282㎡	確認者	高木 康司

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 92% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 92%

④上記+ 92%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.5

建物外皮の	1.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.3
地域環境	2.4
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性を高め、省エネルギーな機器を採用することにより、建物の省エネルギー化を図り、地球温暖化防止に努めている。内装材は健康に配慮したものを採用、全館禁煙にすることで快適な室内環境を提供している。建築および設備で使用する材料は耐久性の高いものを使用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。	その他 0
Q1 室内環境	内装材にF☆☆☆☆を採用、全館禁煙にするなど、従業員や来客の健康への配慮をしている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮した景観づくりをしている。
LR1 エネルギー	空冷ヒートポンプエアコン、LED照明器具を採用することでエネルギー消費を抑えている。	LR3 敷地外環境 耐用年数の高い材料を使用することでライフサイクルコストを削減し、省エネ設備機器を採用することで地球温暖化ガスの発生を抑制している。
Q2 サービス性能	耐用年数の高い材料を採用し、ライフサイクルコストの低減に努めている。売り場の天井高を高くし、来客者に開放性のある空間を提供している。	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	ALFAROMEО・FIAT/ABARTH大阪東増築計画
	建設地	大阪府東大阪市川俣1丁目24、25、26、27番
	用途/区分	物販店 工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B-
--------	----------------	--	----

①	CO2削減		3
---	-------	--	---

②	みどり・ヒート アイランド対策		2
---	--------------------	--	---

③	建物の断熱性		1
---	--------	--	---

④	エネルギー削減		2
---	---------	--	---

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	---

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告		報告しない
-------------	--	-------

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.4	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		